

こども等の直接的な意見把握（ワークショップの実施案）について

1. 子ども・若者からの意見聴取

【目的】

次期「しろい子どもプラン」に位置づける子ども等の施策の策定にあたり、子どもや若者から直接生の声を聴き、同プランへ反映させるため、ワークショップを行う。

※次期「白井市第6次総合計画」及び「都市マスタープラン」の策定にあたっても、子ども・若者の意見聴取を実施することとしており、「しろい子どもプラン」との連動性を図るため、合同で実施する。

【日程・場所】

令和6年5月12日（日） 保健福祉センター3階 団体活動室
令和6年5月19日（日） //

【対象者】（市内在住者）

- ①小学生（4～6年生）30人（6人×5グループ）
- ②中学生（1～3年生）30人 //
- ③高校生 30人 //
- ④若者 30人 //

※募集については、広報しろい、ホームページで広く募集するほか、学校への依頼や各種事業で把握している関係者などに依頼をする。

【内容】

- ・趣旨説明、市の現状を説明
- ・市からテーマを出し、参加者に事前にワークシートを配布し、ワークショップ当日までにまとめてきてもらい、グループワークの中で共有・発表する方法を考えている。
- ワークショップ当日、グループ内で共有し、意見出しを行う。

【テーマ】（案）

（仮）「白井市の将来像について考えよう」、「白井市の好きなところ」、「変えたいところ」

子どもプランとしての視点

- ・小学生、中学生

居場所や体験活動は子どもの成長に重要な位置を占めてくるため、子ども本人の意向や意見を聴取し、施策検討につなげたい。

「こんな場所があるといいな」など。

- ・高校生、若者

若者が抱える悩みや不安、白井で暮らしていくために求めていることなどを把握するため、悩みを抱える若者やその家族に対する相談体制、結婚を希望する場合の支援、就労支援などについて、若者本人の意向や意見を聴取し、施策検討につなげたい。

2. 子育て支援関係団体からの意見聴収

【日程】

小学生から若者のワークショップ結果を踏まえ、5月下旬頃を予定。

【対象者】

子ども食堂、学習支援団体、まちづくり協議会の子育て部門など。

【内容】

- ・趣旨説明、市の現状を説明。
- ・市からテーマを出し、ワークショップもしくはグループインタビュー方式を予定している。

【テーマ】

子どもプランとしての視点

少子化の進展により地域のつながりの希薄化、子ども・若者の孤独・孤立への対策が重要となるため、地域での居場所の在り方や地域資源、担い手の発掘などについて意見をいただき施策へつなげたい。